

年頭のごあいさつ



幌延町議会議長
野々村

仁

平成22年の新春を迎え、幌延町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。常日頃より町民の皆様には、町議会に対して暖かいご理解とご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。

昨年も一昨年に引き続き、幌延地区、問寒別地区におきまして町民の皆様と議会議員の懇談会を開催いたしました。昨年、議員活動の一環として行政視察研修を行い、見聞して来たこと、議員個々が感じ取ったことを各委員会ごとにまとめ、町民の皆様にご報告し、ご意見をいただきました。大変有意義な懇談となり、いただいたご意見等は、これからの議会活動に積極的に活かして行きたいと考えております。

本町にあつては、本年4月より支庁制度改革に伴い留萌支庁から宗谷支庁への移管の年

でもあります。また、懸案事項でありました国際交流施設や町立北星園改築工事が昨年完成し供用開始の運びとなりました。国際交流施設については、ホール機能が主なもので、地域住民も活用できる施設として整備されました。生涯学習センターの併設工事も本年予定され二つの施設を活用し公民館機能を持たせることにより、町民の皆様の交流活動の拠点として期待が高まっております。また、医療の中核をなす町立診療所の建設も本年度開始予定となっております。

町立北星園につきましては、福祉の分野にも市場原理が導入され、社会福祉施設は、より質の高いサービスや独自のサービスを求められるため、従来の公立施設は求められるニーズに柔軟、迅速に対応することが難しくなるなどの状況下であり、公設民営方式による法人化へと平成23年に移行予定となっております。

更に本年は、総務省の地域情報基盤整備推進交付金を活用し、町内全域を光ファイバーで結び、地上デジタル放送の難視エリア対策、双方向告知通信システムによる防災無線と連携し、災害時の緊急無線や緊急放送、行政情報伝達が可能になり、情報通信の格差是正が図られます。

国内をみますと、自民党から民主党へと政権交代が行われ先行き不安な日本経済の中、

米国に端を発する世界的な金融危機の影響を受け、経済の停滞を余儀なくされており、先行き不透明感が強く、地域経済は深刻度を増しております。

こうした中、地方分権一括法の施行により、明治以来形成されてきた中央集権型システムの転換が政権交代により、更に加速するものと期待するところでございます。

地方分権も実行の段階に入り、地方公共団体は地域住民のニーズを迅速かつ的確に反映する行政体制の整備・確立を図るとともに、これまで以上に自らの責任において地域の個性を活かした政策を立案・実施し、住民にとって住みよい町づくり、地域づくりの推進が求められている中、町の議決機関である議会の果たすべき役割は益々大きくなります。

日本の現状と先行きに我が町の財政運営も引き続き厳しい状況下にあります。町民・行政・議員が一丸となり少しでも住みよい町にするため、アイディアを出し合い努力してまいります。

新しい年を迎えるにあたり、議決機関たる町議会といたしましては、幌延町民の皆様のも更なるお力添えとご助言をいただき、複雑多様化する町政と住民ニーズに慎重に対応し、住みよい町「ほろのべ」を目指して汗を流してまいる所存ですので、どうか今年も町民の皆様との相変わらぬご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。